

「地域の会」委員ご質問への回答

(8 月 8 日受付分)

(高桑委員)

● 新潟県、柏崎市、刈羽村 に対する 質問

原子力災害対策指針に関連して質問

① 自然災害との複合災害を前提とするには、示されている防災計画では不十分です。屋内退避が不可能な場合や避難道路の不通など、想定できる状況について、どのように対処するのかをガイドブックに明記する必要があるのではないのでしょうか。

② 現在示されている防災計画は、何処に避難するのかで終了となっていますが、原子力災害は避難場所の更なる移動や避難の長期化が考えられます。その場合の対応などが全く白紙の状態です。避難後、落ち着いた生活を取り戻すまでの見通しをガイドブックに示す必要があるのではないのでしょうか。

回答 柏崎市地域防災計画（原子力災害対策編）を略称として「原子力防災計画」という事があります。これに基づき避難、屋内退避に係る基本的な考え方を踏まえて、柏崎市広域避難計画を作成しています。今後もこれらを修正して行き、その内容を住民の皆さまにお知らせすることとなりますが、その一つにガイドブックがありますので必要なことは盛り込んでいくこととなります。

③ ②の為にも、福島事故避難住民の避難後の問題点の把握は必要と考えます。福島県・立地自治体に対して、原子力災害時における行政としての問題点や課題の調査をしたことはありますか。調査済みであれば、どのような問題点があると捉えていますか。調査してないならば、避難後の問題点等の把握について、今後、調査の必要があると考えますか。

回答 柏崎市では、福島事故による広域避難後の問題・課題があると認識しています。現在、直接具体的な調査を実施する予定はありませんが、さまざま機会を活用したり、福島県内 4 町に職員も派遣し支援をおこなっておりますので、必要に応じて問題点・課題解決に向けた対応の状況、動向の把握に努めています。